

震災復興技術推進シンポジウム

「あつめる、まとめる、すてる…

震災に学ぶ情報とのつきあい方」を開催

地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター多摩テクノプラザ（以下、都産技研）は、**12月4日（火）**、多摩信用金庫と共催で、**第4回 震災復興技術推進シンポジウム「あつめる、まとめる、すてる…震災に学ぶ情報とのつきあい方」**を開催します。

震災から今日まで、多くの情報がさまざまなメディアから発信されていますが、今回のシンポジウムでは、**膨大な情報を横断的に扱うデジタルアーカイブと、有用な情報とダメ情報を見分ける考え方**をご講演いただきます。また、都産技研の震災復興支援、および今年10月に開設した広域首都圏輸出製品技術支援センターをご紹介します。

日 時：平成 24年 12月 4日（火） 13:15～17:00
会 場：たましん事業支援センター（愛称：Winセンター）
（東京都立川市曙町2-8-18）

参加費：無料

定 員：50名

申込方法：都産技研ホームページ または
FAX (042-500-2397) または
メール tamakenshu@iri-tokyo.jp

【プログラム】

時 間	テ ー マ	講 師
13:15～13:25	主催者挨拶	
13:25～13:40	都産技研の震災復興支援事業	(地独)東京都立産業技術研究センター 経営企画室長 片桐正博
13:40～13:55	広域首都圏輸出製品技術支援センターの紹介	(地独)東京都立産業技術研究センター 輸出製品技術支援センター長 西野義典
13:55～14:00	休憩	
14:00～15:20	歴史の実相をつたえる 多角的デジタルアーカイブズ	首都大学東京システムデザイン学部 准教授 渡邊英徳 氏
15:20～15:35	休憩	
15:35～16:55	ダメ情報の仕分け方	駒澤大学経済学部 准教授 飯田泰之 氏
16:55～17:00	閉会挨拶	

【お問い合わせ】地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター

多摩テクノプラザ 総合支援課 谷口 昌平 TEL 042-500-2300 FAX 042-500-2397
経営企画部広報室 竹内由美子 TEL 03-5530-2521 FAX 03-5530-2536

<http://www.iri-tokyo.jp/>

講演内容紹介

歴史の実相をつたえる 多元的デジタルアーカイブズ

首都大学東京システムデザイン学部 准教授 渡邊英徳 氏

講演では、ヒロシマ・ナガサキ原爆や沖縄戦、東日本大震災などに関する膨大な歴史資料を一元化し、PCとスマートフォンの画面上に表示する「多元的デジタルアーカイブズ」のデザイン手法とその社会的意義について、作品の実演を通して紹介する。この「多元的デジタルアーカイブズ」の利用者は、膨大な資料群を横断的に閲覧しながら、それら相互の時空間的なつながりや、身近な場所との関わりを把握し、歴史の実相についてより深く知ることができるようになる。



渡邊英徳

専門は、情報デザイン。
デジタル地球儀や仮想世界を応用した情報アーキテクチャのデザインを研究。
「ヒロシマ・アーカイブ」「ナガサキ・アーカイブ」「東日本大震災アーカイブ」などを手がけ、アジアデジタルアート大賞2011(経済産業大臣賞)など受賞多数。

ダメ情報の仕分け方

駒澤大学経済学部 准教授 飯田泰之 氏

ビジネス・生活の両面において、私たちは日々膨大な量の情報に直面している。効率的な情報収集のためには情報の洪水の中から何らかの形で役に立つ、意味のある情報を抽出する必要があるだろう。しかし、正確に情報の有用性を判断するためには十分な知識が必要となるが……知識の習得にはこれまた多くの時間が必要となる。このジレンマを少しでも改善するためには、確実な情報仕分けの方法ではなく、確度は下がるものの単純で平易な判別法が必要だ。講演では自身の役に立つ「情報収集のための情報の捨て方」について考える。



飯田泰之

専門は、経済政策。
内閣府経済社会総合研究所客員研究員、財務省財務総合研究所客員研究員など。
株式会社シノドスのマネジング・ディレクター、「復興アリーナ」ディレクター。
朝日ニュースター「ニュースの深層」火曜キャスター、ほかコメンテーターなどでTV出演多数。